

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2022年(令和4年)6月1日

会報 第123号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Royal park condo, Street 608, Toul kok,
Phnompenh, Cambodia
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707【ホームページ】[カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】[メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

第20回 定期総会を開催

本会は毎年3月下旬頃、年に一度定期総会を開催しているが、コロナ禍で2年続いて中止していた。その後本会でもオンライン活用が進んだため3月26日(土)、Zoomによるオンライン定期総会を開催、12人の会員が参加した。初の試みだった。

冒頭根岸理事長から、コロナ禍と会員の高齢化などが原因で、会費及び寄付金収入が減収しているも、経費節約と広報活性化で当面の危機を乗り越えたいと、説明があった。

議題では昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算などが審議され、承認可決した。

また、今年度と来年度(2年間)の役員を改選し、5名の理事と1名の監事が選任された。理事=根岸恒次氏(再任)、平古場正行氏(再任)、及川英博氏(再任)、鈴木春男氏(新任)、佐々木英介氏(新任)。監事=増田環氏(再任)。その後4月2日に開催された理事会では、根岸恒次氏が理事長に、平古場正行氏と及川英博氏が副理事長に再任された。質疑応答では参加会員から前向きな提案がなされ、とても充実した定期総会になった。

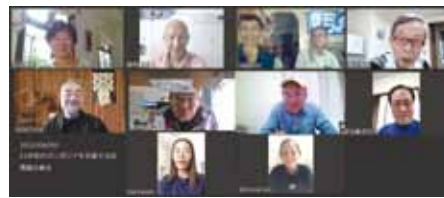
次年度はコロナも落ち着いていると思われるが、当面オンラインと対面を併用して行う予定。

初のオンライン定期総会
画像提供: 鈴木春男様

オンライン情報交換会を毎月開催

本会では、カンボジア在住の日本人や現地スタッフの協力のもと、現地情報をオンライン(Zoom)で紹介する「カンボジア情報交換会」を、原則毎月第1土曜日(又は第2土曜日)の10時~12時に開催しています。3月は12日、4月は9日に開催しました。

6月は18日(土)、7月は9日(土)の午前10時~12時に開催予定ですので、皆様是非ご参加ください。参加・退出は自由ですので、都合良い時間帯にご参加ください。



参加を希望する方は事務局までご連絡ください。事務局から事前に招待メール(IDとパスコード)をお知らせいたします。スマホやパソコンをお持ちの方なら、どなたでも参加可能です。

画像提供: 鈴木春男様

カンボジア訪問旅行再開に向けて

本会では毎年2~3回のペースで「カンボジア訪問旅行」を実施、会員の皆様に現地にご案内しておりましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、2020年3月を最後に中断しております。

依然としてコロナ感染者数が高止まりしている昨今ですが、カンボジアへの入国規制が緩和され、現時点ではワクチン接種証明書を提示すれば隔離なく入国可能になりました。

また日本への再入国も緩和の方向で、やはりワクチン接種証明書の提示と、現地で実施するPCR検査陰性証明書を持参すれば、自宅隔離免除になりました。

ついでに、まだ確定ではありませんが、11月頃に訪問旅行を再開するべく準備しております。ANA直行便は期待できませんが、当面韓国やベトナムの乗り継ぎ便を利用することになります。

会員の皆様で、訪問旅行に参加を希望される方はご一報お願いいたします。ツアーという形が困難であれば、個人的にお連れすることも検討しております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。(☎03-3991-2854)

自衛隊カンボジア派遣30年に思う

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長

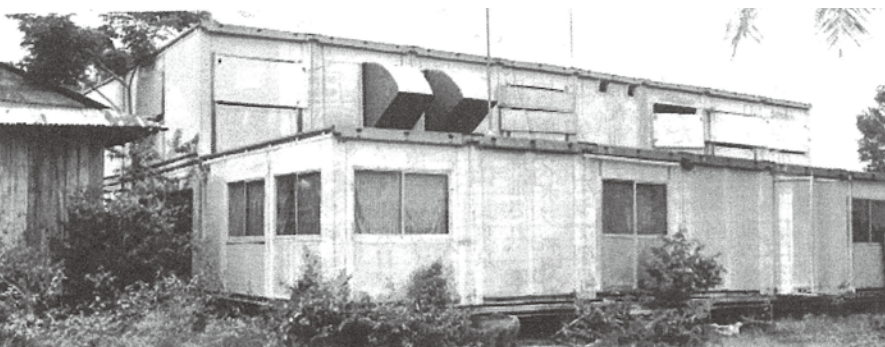
根岸恒次

1992年9月以降約1年間にわたり、日本の自衛隊が国際平和協力法に基づき、国際連合平和維持活動(PKO)の一環としてカンボジアに派遣され、30年が経ちました。自衛隊以外からも、文民警察官及び国連選挙監視要員の派遣も行われました。陸上自衛隊としては初の海外派遣になりました。この間、延べ1500人がカンボジアに派遣され、カンボジア復興のため汗を流しました。

自衛隊の任務は、国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)の指示のもとに、国際平和協力業務を実施するもので、決して戦闘行為に参加する事ではありませんでしたが、いざという時の為に軽武装が許されました。自衛隊の任務は、内戦により傷ついた道路や橋の整備などが主な仕事だったようですが、これを良しとしないポルポト派などの反対勢力により、文民警察官1人と国連選挙監視要員1人の日本人が、銃弾の犠牲になりました。

8年(あたりから野党の追放が露骨に行われ、事実上一党独裁の国に変容してしまいました。来年(2023年)は5年に一度の総選挙の年、果たして解党された野党復活があるのでしょうか？

私もNPO代表者の立場があるため言いづらいこともありますが、自由で開かれた民主主義の国になって欲しいとの強い願望があります。そうでないと、カンボジア民主化のため犠牲になった2人の日本人が浮かばれません。1年間、カンボジア整備に汗を流した自衛隊員に報いて欲しいと思います。これだけは、声を大にして叫びたい気持ちです。



10年前に撮影した自衛隊の宿舎(カンボジア・タケオ県)

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば77年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

里親さんありがとう



【教育里親会費】子ども1人につき 1年間3万円。

・内訳

子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)

年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)

・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。

・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。

所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。
(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

教育支援を
お願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援してくださる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。

(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)

また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854
FAX 03・3557・1213

現地スタッフレポート
久々のクメール正月お祝い

3年ぶりのにぎわい

コロナ禍で2年の間自粛されていたクメール正月のお祝いが4月14日～16日、今年は盛大に行われました。

お寺にたくさんの方が押しかけ、街でもカンボジア伝統行事が行われ、水かけ行事も復活しました。活気が戻り、うれしいです。

カンボジアはコロナが下火になりましたが、用心のためマスクをしている人が多く、子どもたちもマスクして授業を受けています。(スレイニッチ)

ポース・カッカダーちゃん
(女の子)

エミ小学校
(コンボンスプー県)
1年生 (7歳)

●両親離婚し、母親のみ。妹が1人いる。現在母親、妹と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で15分。

ヴィン・ヴィチャカー君
(男の子)

エミ小学校
(コンボンスプー県)
1年生 (7歳)

●家族構成＝両親離婚し、母親のみ。兄2人と姉1人がいる。現在母親、兄、姉と暮らす。
●好きなこと＝絵を描くこと。
●学校まで徒歩で15分。

ヴィト・サヴァート君
(男の子)

エミ小学校
(コンボンスプー県)
1年生 (8歳)

●家族構成＝両親離婚し、母親のみ。妹が1人いる。現在母親、妹と暮らす。
●好きなこと＝サッカーをすること。
●学校まで徒歩で15分。

ティアー・チャントオーちゃん
(女の子)

エミ小学校
(コンボンスプー県)
2年生 (8歳)

●家族構成＝両親離婚し、母親のみ。弟が1人いる。現在母親、弟と暮らす。
●好きなこと＝絵を描くこと。
●学校まで徒歩で10分。

ヴォン・パンナーちゃん
(女の子)

エミ小学校
(コンボンスプー県)
4年生 (9歳)

●両親離婚し、母親のみ。弟が2人いる。現在母親、弟と暮らす。
●好きなこと＝絵本を読むこと。
●学校まで徒歩で15分。

ウオッチ
カンボジア

3年ぶりのクメール正月



ノーマスク

3年ぶりのクメール正月コロナ禍で2年間自粛していたクメール正月のイベントが4月14日～16日、各地で盛大に行われた。カンボジアは今のところコロナ感染が落ち着いているが、見るとほとんどの人がノーマスク。感染拡大しないよう、自己防衛してほしい。

プサーチャオ(泥棒市場)



泥棒市場

プノンペン市内にある、プサーチャオ(通称「泥棒市場」)に行ってみた。嘘か本当か分からないが、昨日盗まれた物が次の日にはこの市場で売られているとか。すべて盗品ではないと思われるが、あまり良い印象ではない。店にはやや気の毒なネーミング。

活気が戻った
プサータマイ
(セントラルマーケット)

セントラルマーケット

プノンペンの中心部にあるプサータマイ(通称「セントラルマーケット」)、貴金属売り場は今ひとつだが、市場を囲む食料品売り場は活気が出て賑わっていた。長いトンネルをくぐり抜け、やっとコロナ前に戻った。

子どもの学習に遅れ生じる

カンボジアでは、コロナ禍で2020年と2021年に、通学日のほぼ3分の2に相当する250日間が休校になったため、子どもたちの学習に遅れが生じていることが、教育省が学校を対象に実施したアンケート調査で分かった。今後、遅れを取り戻すための方策が検討されている。



幼稚園の授業

子どもたちの笑顔

写真提供
遠藤 啓 様

好評につき「カンボジアの子どもたちの笑顔」を掲載いたします。現地では正月休みも終わり、子どもたちは元気に通学しています。



夢ホーム卒園生はいま

ルン・ワンナック君 (26歳)



ワン君と奥様

本会が2009年、カンボジア・コンボンスプー県に開設した児童養護施設「夢ホーム」は、諸事情により2020年に閉園したが、この間30人以上の子どもたちが卒園して社会に巣立っていった。

卒園した子どもたちの多くは立派に成長し、社会で活躍している。

2009年の夢ホーム開設当初に入園したルン・ワンナック君(愛称＝ワン君)。

両親がいなかったため同県ウドン郡から小学3年生の時入園、2016年に高校を卒業して退園、その後トラックのドライバーとして自立、結婚して子どもをもうけ、家族仲良く暮らしている。

カンボジアは交通事故が多いので、家族のためにも気を付けて運転してほしい。

カンボジア
ミニミニ
NEWSクメール正月中の
交通事故で59人が
重傷、27人が死亡

4月14日～16日のクメール正月の連休中、交通事故により少なくとも27人が死亡、59人が重傷、21人が軽傷を負ったという。主な原因は、スピード違反、優先通行権の誤認、無理な追い越し、飲酒運転、脇見運転などだという。

17歳の少女を強姦し
殺害、10代3人を逮捕

ウドーミンチエイ県の警察は、クメール正月に発生した17歳の少女の強姦と殺害に関与した3人の少年を逮捕した。容疑者の一人は少女の交際相手だという。殺害の動機は、少女が強姦のことを警察に知らせることを恐れたためだという。カンボジアには死刑がないため、この種の悪質な犯罪は終身刑になる可能性が高い。

カンボジア当局、6月
の地方選挙控え野党の
活動妨害か

カンボジアの情報筋によると、カンボジア当局が6月に行われる地方選挙に向け、与党に対抗する野党グループのメンバーを阻止する動きを見せている。前回(2018年)の総選挙では、フンセン首相率いる与党・カンボジア人民党が全議席を獲得した。

1月～3月の薬物犯罪者
減少も押収量は約3倍に

反薬物部門によると、2022年1月～3月の間で、カンボジア国内で逮捕された薬物犯罪者の数は減少したものの、押収される麻薬の量は増加しているという。1月～3月の間、当局は薬物犯罪計1598件に関与した3697人を逮捕した。

1月～3月の外国人観光
客数、前年同期114%
増加

観光省は記者会見で、2022年1月～3月の観光客数は空路が8万6588人、陸路が6万3048人に達し、前年同期比でそれぞれ158%、68%増となったと明らかにした。コロナの収束に伴い、観光客が徐々に増えてきている。



里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってもらいます。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500 円
・お米(50キロ入り)	4,500 円
・通学用かばん	3,000 円
・ティシャツ2枚&サンダルセット	2,000 円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000 円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000 円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000 円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています



教育支援金を
届けました

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けている。中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。3月23日～4月1日にかけて2月と3月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。カンボジアの学校は4月に正月休みとなり、その後8月中頃まで授業が続く。

は、コロナ禍による休校もなく学習に励んでいる。4月はクメール正月、子どもたちに約2週間の正月休みが与えられたが、コロナ禍で授業が遅れた分を取り戻すため正月休みを返上、又は短縮した学校もあった。正月休みが終ると8月中頃まで授業が続けられ、その後約2カ月間の長い休みに入る。Zoomによるオンライン里子訪問も順調に行っており、希望する里親さんが増えてきた。希望される方は事務局に問い合わせを。 ☎03-3991-2854



授業風景

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいなくても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在290人の子どもたちを教育支援している。

クメール教育里親基金活動レポート

投稿

M君の思い出(4)

今 紀子(東京都在住、会員)

それから何年経っただろうか。突然、M君から電話がかかってきた。日本に來ているという。M君は「先生、逢いたいです」と言った。ところが、私は翌日ボランティア活動でカンボジアに旅立つことになっていた。M君は、しばらく日本に滞在するという。

私はカンボジアへ、M君は日本に……。それぞれの思いを抱きながら再会を約束した。

「21世紀のカンボジアを支援する会」を立ち上げた時は、まだ二十世紀。根岸理事長の未来を見据えたネーミングには、脱帽である。

そうして、今まさに二十一世紀。世界のあちこちで凄惨な争いが繰り広げられ、尚かつ私たち人間は、不気味なウイルスとの戦いも強いられているのである。

「手をつなごうよ!」と言いたいけれど、うっかり手もつなげない。でも、心はつなぐことはできる。きっとできる!

プノンベン観光でバスに乗った時、日本語で案内して下さったガイドは40代の方で、難民キャンプで国連スタッフの日本人から日本語を教わってもらったと話していた。M君と同年代と思われる。M君は今、日本でお父さんのG神父とくつろいでいるのだろうか。

カンボジアから戻ると、私はM君と連絡をとり、G神父の教会で逢うことになった。何年ぶりだろう。

目の前に十七歳のはにかんだ微笑の少年が立っている。いいえ、苦しみ悲しみをすべて包みこんで静かにほほえんでいるM君が私を待っていてくれた。ポルポト時代、占拠されて荒れ果てた村を優先的に校舎を建てているのだという。

そして、彼はこう言った。

「日本人は、すぐお金を出すから困る……。」 (続く)

投稿

カンボジアで結婚式に参列してきました

三林 けい子(新潟市在住の里親会員)

2月～3月はカンボジアでは、結婚式が盛んに行われる時期です。私も縁あって、披露宴に参列しました。そしてこの機会に、カンボジアの伝統的な衣装を新調しました。

新潟市にある大学院には、カンボジア人留学生が毎年数名入学してきます。今回は2年前の3月に卒業した花嫁さんと、その時一緒だった留学生仲間がプノンペンで集まりました。

カンボジアの披露宴は、新郎新婦が会場の入り口にて次々と到着するお客様を迎え、一緒に写真を撮ります。次に、テーブルごとに満席になり次第、順次食事が運ばれて会食が始まります。食事が終わるとそれぞれのタイミングで帰っていきます。お客様全員一斉での乾杯はなく、ステージ上には音楽の生演奏と歌でもてはやされます。

私はカンボジアに縁あって19年となり、結婚式や披露宴は4回招待を受けました。何度でもお祝い事は嬉しいものです。



右から5人目が三林さん

みんなで学ぼうカンボジア語

第3回 ボーン!!!!

「ボーン」という言葉は目上の人を表す言葉です。年上の人や女性から恋人を呼ぶときに使ったり、他の言葉と併せて熟語の様に使う言葉です。

ボーン+プロ(男)=お兄さん、ボーン+スレイ(女)=お姉さん、ボーン+トム(大)=ボス親分、ボーン〇〇と名前を入れても良いです。

以前、私の職場の近くに「ウエダコーヒー」という珈琲屋があり、その女の子に毎日「ボーンプロ!ボーンプロ!」と呼び止められ、コーヒーを買わされていました。美味しいのですが値段も安くないので、毎日はいいたくねえなーと思っていても、「お兄さん」と女性に声をかけられると「なに?呼んだ?」と立ち止まってしまう男の習性なのであります。

女性の方は、旅の道中に何か困ってカンボジア人男性に助けを求める際は、「ボーンプロ」と呼んでみると、即座に助けて貰えるかもしれませんね。日本でもカンボジアでも、男はそんなものです。

(青木貴之=カンボジア・光語学スクール総務)



光語学スクールで
学ぶ子どもたち

投稿

3人の若者がカンボジアで挑戦

中村善信(プノンペン在住、喫茶店経営)

今年3月にシェムリアップに行き、牛タン屋と作のレストランに行く機会があり、経営者の栗野さんと知り合いになりました。

栗野さんの所属する団体「KUMAE」は、代表の山勢拓弥さんを筆頭にバナナの茎から繊維を取り出しバナナペーパーとして紙製品、強度を加え袋物バッグ等も作り、村の人に雇用を産む活動を行っています。

「KUMAE」の活動の新プロジェクトとして「NFC KUMAE」というコミュニティを作り、3人の若者がカンボジアで挑戦しています。

近郊の農村で鶏を育て、野菜を栽培され、「Fresh Fruit Factory-Fruit Cuisine Restaurant」のオーナー高橋宏和さんと共同で胡椒農園も立ち上げられています。これらの農場と工房を訪問してきました。

養鶏は鶏舎作りから母鶏のヒナを育てるお手伝い、野菜作りはまず土作りから始められ自然農法を実践されています。また胡椒農園では井戸掘りから始められ、胡椒の木の苗から挑戦されています。

若者がカンボジア地で奮闘されているのをみて、応援したいと思いました。またカンボジアには日本から、JICA、NGO等、いろんな組織団体個人が来られています。同じ日本人として、横の連絡も必要ではと考えさせられました。

私のブログは「検索エンジン」を使い「なかやんのプノンペン滞在記」の3月18日から21日まで連載で書き込んでいます。

また栗野さん(3名のYou Tube)は【NFC KUMAE】と検索すると見ることが出来、バナナペーパーのHPは下記です。

<https://kumae.net/bananapaper>



栗野さん

本会の会員状況をお知らせいたします

(2022年4月末日現在)

●教育里親会員	206名
●個人会員	80名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(随時)	63名
合 計	359名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

カンボジアへの入国が緩和されましたので、5月20日から6月13日にかけて、本会会員ら5名がカンボジアを訪問いたします。ツアーという事ではなく、あくまでも個人旅行の範疇ですがその詳細な報告を次の会報に掲載いたします。お楽しみに。

毎年5月に開催の「カンボジア・フェスティバル」はコロナ禍で2年間中止でしたが、今年は3年ぶり、5月3日〜4日に「東京都・代々木公園」で開催されました。こちらも次の会報で報告いたします。

3月26日に定期総会、4月2日に理事会が行われ、向こう2年間の役員が確定いたしました。

事務局並びに行政への報告、登記など諸手続きが終了いたしました。役員の皆様、向こう2年間よろしく願っています。

すがすがしい季節になりましたが、梅雨が来て暑い夏を迎え、涼しい秋が過ぎるとまた寒い冬がやってきます。繰り返しの日々ですが日常に埋没することなく、一日を大切に生きてゆきたいものです。

活動に参加しませんか

正会員として

■教育里親会員(年額3万円)
子どもたちへ直接払う年額
1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額

1万7千4百円(58%)

■個人会員(年額5千円)

■団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～シェムリアップの道路改修工事が終了～

昨年2021年1月から始まったカンボジアのシェムリアップの道路改修工事は、今年2月に終了し、見違えるように綺麗になりました!全市を上げて一斉に道路の掘り返しが始まりましたので、どこもかしこも通行止めで市民生活には多大な支障が出ましたが、何とか終わってくれました。今は仕上げの工事で、信号機や街灯、監視カメラ等の設置中です。

フンセン首相の肝いりで行われ、改修した道路38本の総延長は108.7km、総工費は約1億5000万ドル(約172億円)。改修した道路全ての地下に雨水回収の排水管が埋められました。合わせてJICA支援の上水道管の埋設が行われました。

国道6号線には中央分離帯が出来、片道2車線の外には駐車場、サイクリングレーン、歩道が出来ています。

更には歩道に点字ブロックが設けられました!カンボジア初でしょう。これまで歩道は駐車場となっていました。本当に歩道になるか否か見ものです。



道路工事

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

日本はG7のアジア代表、民主主義の旗振役

力による現状変更を「国連憲章」は認めていないが、拒否権を持つ常任理事国のロシアと中国がこぞって国連憲章を無視、ロシアはウクライナを侵略、中国は南シナ海に人口島を作り領海拡大を図っている。

とりわけ中国は軍事とともに経済力に物を言わせ、途上国に貸金して港湾、鉄道などを整備、返済不能となれば没収の「債務の罠」にハマった途上国の行く末に、不安を覚えるものである。

カンボジアでは、別の形で中国が進出している。カンボジアの西方にあるコフコン県に「ダラサコウ」という半島がある。その一角を中国がカンボジアから99年間租借、中国人向けの一大リゾートを開発中だ。

その面積はシンガポールの半分に当たる広大な土地、99年間租借とはいえ、事実上中国の領土になったようなもの、国際法に触れない、新車の侵略と言えなくもない。コロナ禍で開発が一時止まっていたが、収束ともにやがて工事が再開されることだろう。

たまたま行く機会があり、「ダラサコウ」に行ってみた。既にホテルやカジノなど、一部営業していたが、広大な土地は手つかずのまま。飛行場も建設中で、アメリカは軍事転用を警戒している。「カンボジアよ、お前もか!」と言いたくなるが、これが世界の潮流なのだろう。

我が日本はG7の一員であり、G7のアジア代表として、民主主義の旗振役を務めている。GDPでは中国に抜かれたが、それでもまだ世界3位の国力に変わらな。我々ほもつと自信を持ち、はっきり「物申す国」になるべきと思う。(根岸記)



カジノ場付きホテル



建設中の空港



少年僧(写真提供:遠藤 啓様)

きりとり

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	〒 (TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。